



Nippon Techno Lab Inc.

May 15, 2019

日本テクノ・ラボ（株）

（札幌アンビシャス：3849）

中期経営計画

Next Stage 2022

～2019年4月～2022年3月～



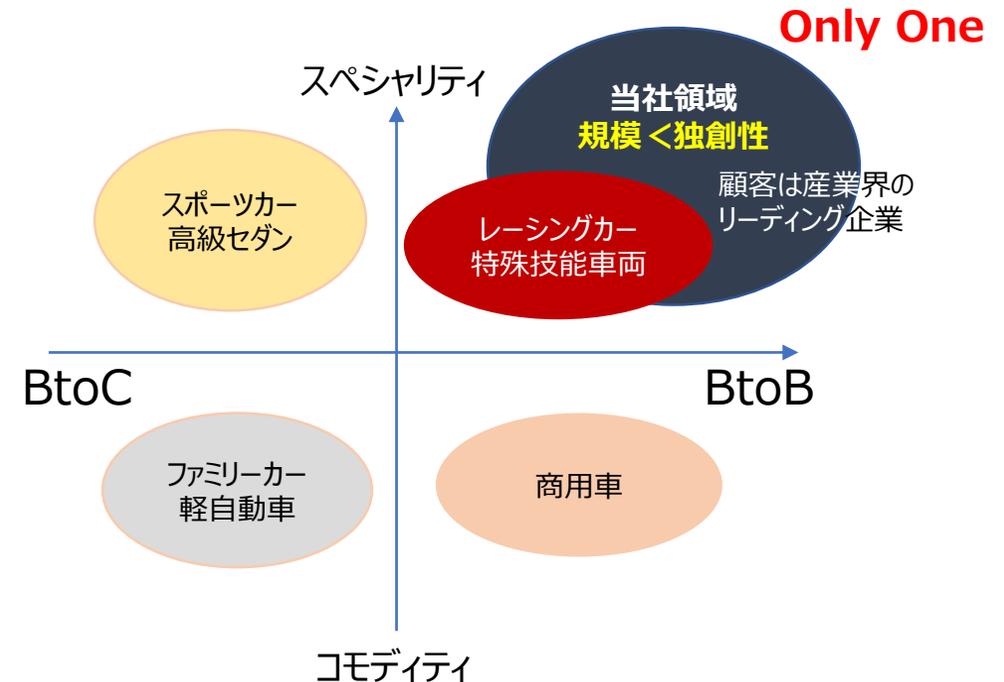
企業理念とポジショニング

• 企業理念

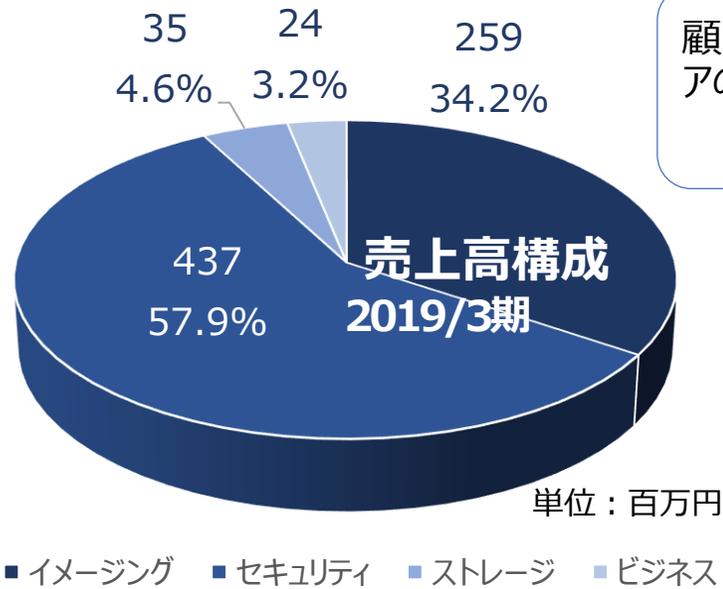
「高度で付加価値の高いソフトウェア開発で、お客様の問題解決・価値向上を図り、社会の進化に貢献する企業を目指します」

経営方針

- **固有技術、希少技術へのこだわり**
→ **高付加価値・高利益を重視**します。
- **自社開発を基本**にします。
- **基礎理論、基本技術を重視**します。
- 事業、技術、製品において**オンリーワン企業**を目指します。
- **株主、従業員、取引先との調和**を重視します。



事業領域：セグメント



顧客ニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守

ビジネスソリューション事業

ストレージソリューション事業

可搬型記憶媒体システムの開発、販売、保守

世界Only One

世界Only One

産業用インクジェット・プリンタ用制御ソフトウェア、広巾長尺プロッタ用制御ソフトウェア、ポストスクリプト・ラスライザの開発、販売及び保守

イメージング&プリンターコントローラ事業

セキュリティ事業

セキュリティプリントシステムおよび統合監視映像システムの開発、販売、保守

世界Only One

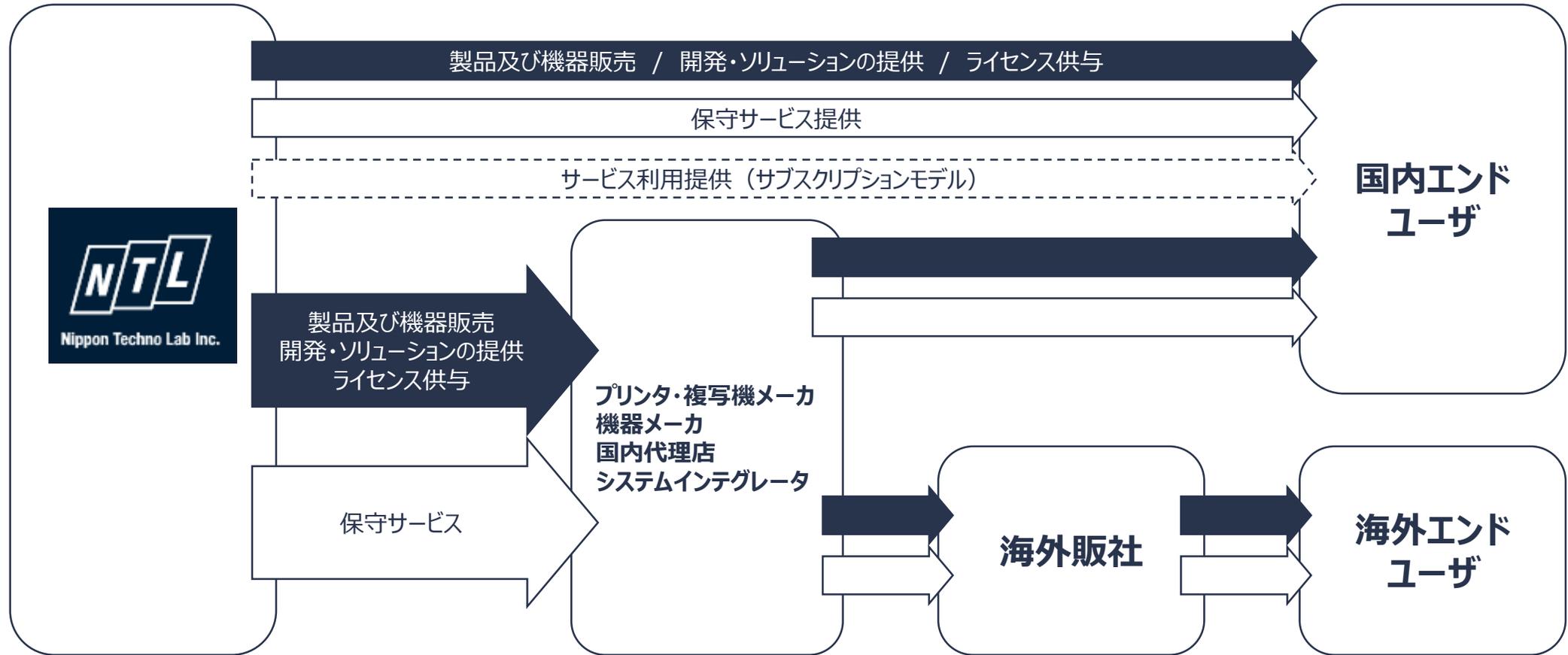


ビジネスモデル



Next Stage 2022

- 当社の売上高は商品売上、製品売上、受託開発売上と保守サービス売上、サービス利用売上から構成されております。



中期経営計画の基本方針



Next Stage 2022

フォローの外部環境を活かした積極経営

**高い開発力、技術力による
高付加価値ソフトウェア、システムの開発**

少数精鋭

成長戦略方針



Next Stage 2022



- イメーシング&プリンタコントローラ・・・インクジェットコントローラ
- セキュリティ（映像）・・・・映像統合監視（監視カメラ制御）
- セキュリティ（情報）・・ドキュメント管理（認証印刷）
- ストレージ・・・・・・・・大規模アーカイブ用途ストレージ

少数精鋭のエンジニア集団

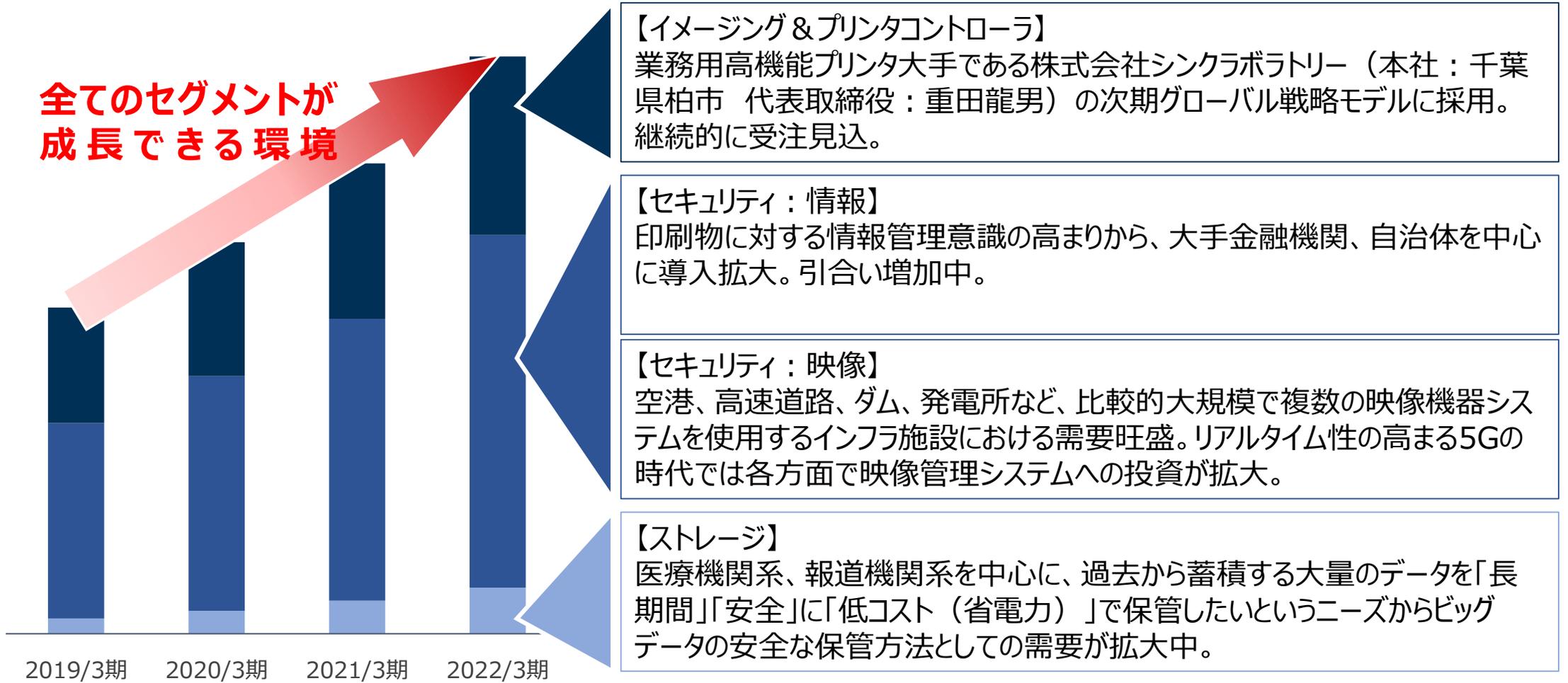


Next Stage 2022

<p>代表取締役社長 松村 泳成</p>	<p>取締役 第2開発本部長 松村 泳勲</p>	<p>取締役 映像セキュリティユニット営業部長 近藤 敏博</p>
<p>‘78年4月 米デジタルイクブメント(株)入社 ‘84年4月 日本マサチューセッツ・コンピュータ(株) 取締役営業部長就任 ‘89年1月 当社設立、代表取締役就任</p>	<p>‘82年4月 サンテック(株)入社 ‘90年1月 当社開発部入社 ‘95年7月 取締役第2開発本部長就任</p>	<p>‘06年6月 当社監査役就任 ‘09年4月 当社営業部入社 映像セキュリティユニット営業部長就任 ‘14年6月 取締役映像セキュリティユニット営業部長就任</p>
<p>業務執行役員 研究開発ユニット統括部長 永井 雅人</p>	<p>業務執行役員 プリンタコントローラユニット営業部長 川辺 基行</p>	
<p>‘93年5月 当社開発部入社 ‘09年6月 取締役第1開発部副部長就任 ‘18年6月 業務執行役員研究開発ユニット統括部長就任</p>	<p>‘05年12月 当社営業部入社 プリンタコントローラユニット営業部長就任 ‘18年 6月 業務執行役員プリンタコントローラユニット 営業部長就任</p>	
<p>国内トップレベルエンジニア 27名</p>	<p>業務執行役員 情報セキュリティ開発ユニット統括部長 中山 和彦</p> <p>‘90年6月 当社開発部入社 ‘10年6月 取締役情報セキュリティ開発ユニット統括部長就任 ‘18年6月 業務執行役員情報セキュリティ開発ユニット 統括部長就任</p>	<p>業務執行役員 情報セキュリティ開発ユニット技術部長 小長谷 岳人</p> <p>‘98年3月 当社開発部入社 ‘09年6月 情報セキュリティ開発ユニット技術部長就任 ‘13年6月 取締役情報セキュリティ開発ユニット技術部長就任 ‘18年6月 業務執行役員情報セキュリティ開発ユニット 技術部長就任</p>

セグメント別事業環境

全てのセグメントが
成長できる環境



業績計画



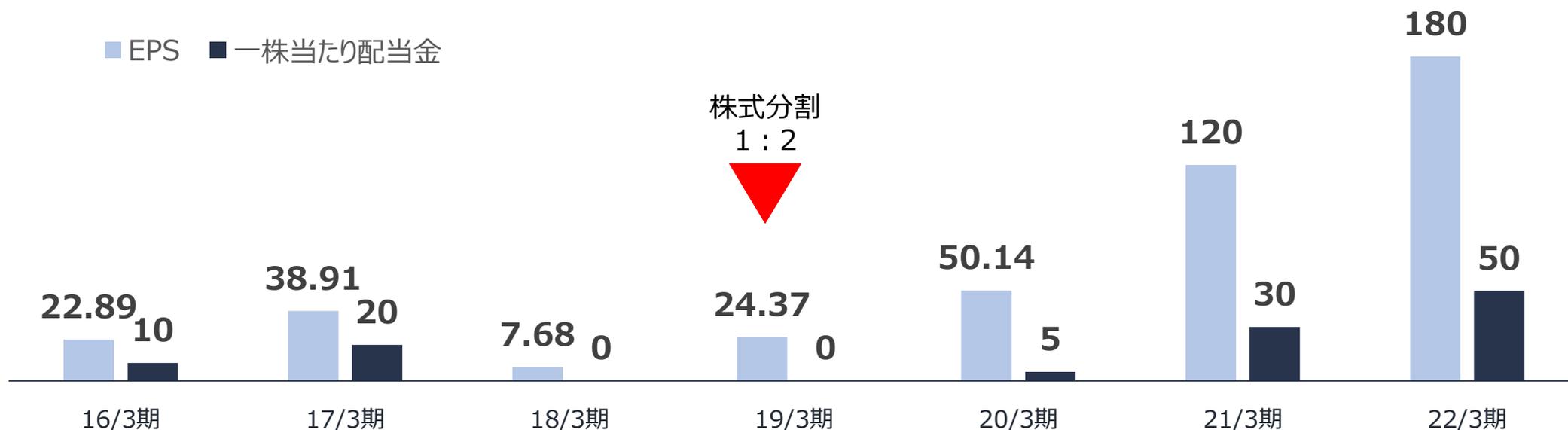
Next Stage 2022

最終年度2022年3月期 売上高13億円 営業利益4.5億円

単位：百万円	2019/3期 実績	2020/3期 計画	2021/3期 計画	2022/3期 計画
売上高	757	900	1,050	1,300
営業利益	100	150	300	450
経常利益	54	150	300	450
当期純利益	38	80	200	300
配当性向 (%)	—	10	24	27

株主還元

R&Dを重視しつつ積極的に配当も実施。
将来的には配当性向30%を目指す。



※ 当社は2019年4月1日付けで1株につき2株の株式分割を行っております。
2019年3月期以降のEPSは4月1日現在の発行済株式数（1,696,000株）を基準に計算しております。

中期成長イメージ



Next Stage 2022



少数精鋭

Only Oneの技術

セキュリティ

ストレージソリューション

イメージング&プリンタコントローラ

ビジネスソリューション



May 15, 2019

IR連絡先

管理部

電話：03-5276-2810

<https://www.ntl.co.jp/>



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。